



子ども歯みがき教室

10月7日（月）さかえ保育所で「子ども歯みがき教室」が行われました。

子どもたちは、歯の模型を使った保健師さんの説明を真剣に聞き、一生懸命に歯みがきの練習をしました。

第3回定例会のあらまし 2

平成30年度各会計決算を認定 3

町政を問う！4人の議員が一般質問 ... 4

委員会活動 10

議会のうごき 12

平成30年度各会計決算を認定

9月12日開会の第3回定例会において、平成30年度一般会計及び特別会計並びに各企業会計の決算を審査するため、議長と議会選出の監査委員を除く8名で構成する決算審査特別委員会を設置しました。

休会中に審査した結果を9月20日の最終日に報告し認定しました。

◎決算審査特別委員会 委員長 辻 紀樹 副委員長 北川 佳嗣

◆ 平成30年度一般・特別・企業会計決算状況 ◆

会計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	51億9,282万5千円	50億7,202万3千円	1億2,080万1千円	
特別会計	後期高齢者医療	9,997万8千円	9,902万8千円	94万9千円
	国民健康保険	7億6,218万円	8億1,694万8千円	△ 5,476万7千円
	介護保険	8億2,991万7千円	7億9,508万9千円	3,482万8千円
	公共下水道事業	5億6,281万1千円	5億5,580万8千円	700万2千円
企業会計	ガス事業	収益的収入総額 1億723万2千円 資本的収入総額 3,830万6千円	収益的支出総額 1億541万2千円 資本的支出総額 6,120万7千円	
	水道事業	収益的収入総額 1億5,699万3千円 資本的収入総額 856万円	収益的支出総額 1億3,973万9千円 資本的支出総額 5,960万1千円	
	病院事業	収益的収入総額 5億7,658万9千円 資本的収入総額 112万2千円	収益的支出総額 6億900万3千円 資本的支出総額 1,088万6千円	

歳入、歳出差引額の不符合は、端数処理により生じたものである。



平成30年度決算審査特別委員会

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点をただし、所見を伺うことです。



大谷 敏弥 議員

- ・ 空き家対策の現状と課題と今後の取り組みは …… 5



柏倉 恵里子 議員

- ・ 長万部町高齢者生活福祉センターの家賃見直しを …… 6
- ・ 町内で介護職員初任者研修の開催を …… 7



北川 佳嗣 議員

- ・ 地方創生事業のアグリビジネスの進捗状況は …… 8



辻 紀樹 議員

- ・ インフルエンザ予防接種の無料化について …… 9

定例会2日目、4人の議員より一般質問が行われました。
その内容を要約してお知らせします。

※全文は町ホームページからご覧になれます。

[町ホームページトップ](#) → [町議会](#) → [会議録](#)

— 大谷 敏弥 議員 —

空き家対策の現状と課題と 今後の取り組みは

(町長) 効果的な施策になるような 支援制度を検討

大谷 少子高齢化や人口減少で、ますます空き家が増えてくる。管理が行き届かないまま放置されれば、地域の防災や住環境に影を落とす。また、治安面や衛生面などに悪影響を及ぼし、町のイ

メージや資産価格低下にも繋がる。そこで次の2点について伺う。

1点目。数年前から空き家の撤去費用を助成する自治体が増えている。助成額は撤去費用の1割ほどだが、所有者が空き家を取り壊すきっかけになつたとの事例もある。また、屋根の積雪で空き家が倒壊する危険を未然に防ぐ等々を考慮し、建物撤去費用を助成する制度を新設しては。

2点目。以前、本会議での質問に対し「空き家等の状態と周知への影響の程度を踏まえ、国のガイドラインに示された基準や、北海道の手引き等、整合性を取りながら町の実情に合った判断基準と運用の在り方について、関係各課と協議を進めながら検討する」と答弁されたが、その後の進捗状況は。

町長 1点目、倒壊等

の危険性のある空き家等にあつても個人の財産であり、所有者等が責任を持つて対応しなければならぬ。

所有者等の中には、解体費用を用意することが困難な方もいる。所有者の自発的な除却を促進するため、危険性のある空き家等の除去に関する費用の一部を補助する支援制度については、他の自治体の対策を参考にするなど、今後、長万部町の空き家対策について効果的な施策になるような支援制度を検討していく。

2点目、空き家等に関するデータベース整備について、住宅密集地以外の121件についても現地視調査を行い、411件のデータベースを入力している。その後、固定資産課税情報により所有者の特定を行いデータを整備中である。

今後は、所有者の特定

できた物件について、アンケートによる意向調査を実施し、空き家の状況や所有者の意向の把握に努め、適切な管理の推進を要請していく。

また、倒壊の危険性などのほか、生活環境、防災、防犯など多くの問題点があり、関係各課で協議をして対応してきているが、さらに役場内での対策体制の強化を図り、空き家等対策計画の策定に向けて進めていく。

大谷 倒壊の危険がある建物が何軒かあり、早めの対策が必要である。支援制度や計画の策定は、いつまでに検討するのか。

町民課長 進捗状況によるが、所有者の特定ができた部分について、アンケートによる意向調査を実施し、年度内を目標にしてやっていく。その結果を基に助成制度の検討や、計画の体制を進め

ていきたい。

大谷 アンケートによる意向調査はいつまでに終わらせるのか。

町民課長 年度内を目標に発送し、来年度にはそれをまとめ、検討課題を固めて進めたい。

大谷 所有者の特定ができていない物件は何軒か。

町民課長 データ件数は411件で、そのうち、更地になっていたり使用者が判明した件数を除くと376件。現在、その中で所有者情報が確認されているのは339件であり、残り37件が特定できていない。



倒壊の危険がある建物

― 柏倉 恵里子 議員 ―

長万部町高齢者生活福祉センターの家賃見直しを

(町長) 第8期介護計画策定作業の中で検討する

柏倉 高齢者生活福祉

センターは家賃が町の収入となり、食費、管理費はふれあいハイム長万部の収入となる。家賃は年収により区分が分かれており、150万円以下の場合、単身用居室は月額1万5千円となる。ところが、年収が国民年金のみの方は、満額支給でも月額6万5千円ほどで、年額にすると78万円となり、食費、管理費を支払うと手元には残らない状況となり、家賃を支払うことができない。

町長 長万部町高齢者生活福祉センターを利用する方には、居室料および食費、管理費を負担いただく。居室料は、収入による階層で区分されており、単身用居室は、150万円以下は月額1万5千円、150万円から200万円までは月額2万円、200万円以上は月額2万5千円となっている。食費、管理費の合計は、入居する部屋にもよるが、月額6万円前後となる。

町の持ち出し分となる。年収150万円以下の階層をもっと細かく定め、家賃免除の階層を設けるべきとの質問だが、現在の居室料は、平成13年の開設以来改定は行っており、過去には料金見直しの検討を行った経緯はあるが、据え置いたままの状態である。

現在、第7期長万部町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を「共に支え合い、長寿で豊かなまちづくり」を基本理念に各種事業を展開している。この計画に高齢者生活福祉センターも位置づけられていることから、令和2年度の第8期計画策定作業の段階で、今回



高齢者生活福祉センター

質問をいただいた年収150万円以下の階層区分も含め、料金体系全体についての検討を行う。

柏倉 過去に料金の検討をしたということだが、据え置きになった理由は、

保健福祉課長 過去に施設を増設した際、食事の提供を含め検討した経緯は残っているが、年月が相当経っており、どのような内容で見送ったか経過はわからない。

柏倉 国民年金収入のみで、この施設には入所できなかったが、黒松内での施設には入居することができた方がいる。黒松内では家賃の補助をしているからだ。

高齢者福祉センターは

介護度が低い方が入所でき、3食提供なので本当にありがたい。長万部で生活したい方もたくさんいる。収入の部分でカットされることはないよう、再度答弁を求める。

町長 料金の見直しをする場合、150万円以下だけを見直して、200万円以上を見直さないとはいえない。例えば、階層区分が今3分割のものでも6分割にして上もあげる。こういう考え方でやらないと公平性が保たれなくなる。検討をさせていただきます。

— 柏倉 恵里子 議員 —

町内で介護職員初任者研修の開催を

(町長) 受講者が少ないため難しい

柏倉 全国的に介護従事者が不足しており、長万部町も例外ではない。

その背景にはいろいろ、様々な理由が存在すると思うが、介護を目指す人の後押しも必要なことと思う。現在は研修を行う他市町村まで出向いているが、カリキュラムは130時間必要で、最短でも1か月かかる。受講料プラス交通費もかさむが、移動時間も負担となっている。

開催するにはある程度の受講人数が必要なので、近隣町村にも声をかけて人数をまとめ、高校生の受講も斡旋するなど、挑戦したい方が挑戦できる環境を長万部町で作ってはいかがか。町長の所信を伺う。

町長 長万部町社会福祉協議会が平成30年度から実施している、福祉・介護の人材の安定的な確保と定着を図るための福

祉資格取得等助成事業に對し、町では補助を行っている。

事業の内容は、福祉または介護に関する資格を取得した、またはキャリアアップ等に関する必要な講座を受講した町内に住所を有している者、町内の福祉施設に就労することが決定している者、もしくは現に就職している者に対し、受講料、受験料、交通費、宿泊費の合計額5万円を限度額として助成するものである。平成30年度の実績は、介護福祉士実務者研修、介護支援専門員専門研修などを受講した4名に対して助成している。

介護職員初任者研修は、過去には町内でも開催されていたが、現在は受講する方が少ないため開催されていない。最近においても、研修会開催のため事業者が社会福祉協議会や町内事業所を訪問し



たが、希望者が少ないと伺っている。このような状況のなか、他町村に声掛けしての研修会開催は難しいと考える。

当面は、社会福祉協議会と連携を図りながら、福祉資格取得等助成事業を積極的に活用していただくよう、広報活動に努める。

議会の会議録はホームページでご覧になれます

長万部町ホームページトップ → 町議会 → 会議録 からお入りください。

長万部町役場ホームページ

<http://www.town.oshamambe.lg.jp>

— 北川 佳嗣 議員 —

地方創生事業のアグリビジネスの進捗状況は （町長）計画どおりの進捗状況ではないが 安定収益の確保を目指している

北川 地方創生事業の一環であるアグリビジネスは5年計画の最終年度となったが、現在の進捗状況はどのようになっているのか。

1、ビニールハウスの増設計画の結論は。

2、温泉熱利用の設備計画や整備はどの程度進んでいるのか。

3、トマトの収穫実績は順調に推移をしているのか。

4、首都圏青果市場における高価格帯での販路拡大は進んでいるのか。

町長 1、今年度のビニールハウス増設計画については、高価格帯での販売ルート拡大が遅れていることや、従業員等の

退職などがあり、体制を再構築している中で今年度中の規模拡大は難しく、実施しない。

2、現在、理科大に供給している温泉送水管を途中から分岐し、ハウス内暖房の一部の熱源に利用するもので、これら設備の設置を今年度中に実施したい。

3、7月中は日照がほとんど無く、栽培に良くない状況が続いていたが、現在は日照時間も回復し、収穫量・糖度を上げていく状況となってきた。

4、首都圏青果市場での販売は、輸送コストが最大のネックのため、今後は輸送コストが安く、高価格帯で販売できる道

内での流通にシフトするよう対応し、まずは安定した収益の確保を目指している。

北川 1、交付金の対象期間中は、ビニールハウス2棟体制での生産が確定したということか。

まちづくり推進課長 ハウスの棟数は、今年度は2棟でいくと聞いている。

北川 2、現在、平里の温泉井から理科大までの給水管で温泉を供給している。理科大に行く手前で分岐してビニールハウスに迂回させると、理科大の風呂が使えるなくなるのでは。また、温泉水の温度は何度あるのか。

まちづくり推進課長 冬期間の暖房に利用したいと



高糖度ミニトマト

のことで、理科大の送水に影響のないよう、冬休み期間中の稼働を検討しているという。温度は、温泉送水管設置の段階では44℃前後ある。

北川 では、理科大生が入寮している期間はこの装置は使えないことになるが、具体的にどんな仕組みなのか。

まちづくり推進課長 熱交換の仕組みの詳しい仕様は聞いていないが、単純に温泉水を回すのではなく、温泉水から熱を交換した液を回すという形で検討すると聞いている。

北川 44℃のお湯を熱交換して、長さ100メートルのビニールハウスを2棟循環させて、どの

程度の熱量が確保されるのか。実証実験等でデータの取得はしているか。

まちづくり推進課長 まだデータは取得していない。設計上では全てのハウスに熱源の供給はできず、一部の熱源として利用すると聞いている。

北川 交付金申請の段階では、ハードウェア部門とソフトウェア部門に分かれている。ハード部門に関しては100%関連企業内で資金調達のめどがついているので、ソフト部門の交付金及び補助金を100%使うと申請している。このシステムはソフト部門か、ハード部門か。

まちづくり推進課長 施設についてはハード部門となり、民間業者が経費を持つ。設計などは、ソフト部門として交付金を投入できる。

インフルエンザ予防接種の無料化について

(町長) 受診率などの経過を見ながら 今後検討する

辻 例年1月から3月にかけてインフルエンザが

現在までのところ報告されていません。

活保護者は無料。平成28年度は実施者数818名、接種率36・4%。平成29年度799名、35・6%。平成30年度831名、37・4%。

何でも無料化にというのは時代に即さないかもしれないが、子ども達も65歳以上と同じような補助事業を実施しては。

流行し、小・中学校が学校閉鎖や臨時休校することによる勉強の遅れや、

次に、小学校低学年以下の予防接種の接種率について、長万部町立病院にて接種した10歳以下の

辻 他町村の病院での接種も含む数字か。

町長 高校生までの医療費の無料化は実施している。ワクチンの接種というのは、子どもの状況や体力など健康問題も含め、国でもインフルエンザ予防接種については個々の保護者の判断としている。予防接種を無料化にすることは当面やるつもりはないが、今後、子ども達の受診率が高くなっていくようであれば、経過を見ながら検討したい。

が懸念される。本町では、町広報による予防接種の啓発、学校と保護者との

109名33・9%である。町外の病院で接種する方もいるので、実際の接種率はもう少し高いものと思われる。

健康推進室長 この事業は長万部町立病院との委託契約なので、町立病院での実施分であるが、施設入所者や長期入院の方は町立病院で接種することができないため、入所施設内もしくは入院先

辻 受診率が高齢者も子どもも3分の1程度で、あまり高くない。やはり予防接種率を上げ、症状が軽く済めば医療費の適正化にも繋がると考える。

連携による早期の接種により、重症患者や不慮の事故の発生は少ないのではないかと。予防接種をすることで、インフルエン

医療費適正化の取組については、予防接種の啓発など感染予防の周知に引き続き取り組む。また、子どもの予防接種料金の無料化については、現段階では難しいと考えているが、今後様々な動向をみながら助成のあり方について検討したい。

辻 高校生以下の予防接種対象年齢は。

辻 接種率が高齢者も子どもも3分の1程度で、あまり高くない。やはり予防接種率を上げ、症状が軽く済めば医療費の適正化にも繋がると考える。

ザに罹っても症状が軽く、低学年の子には体の負担軽減にもなるが、接種は任意であり、接種率はあまり高くないと思われる。

今後さらに、町広報などで予防接種の啓発に取り組むとともに、高校生以下の接種を無料化し、接種率を上げることが医療費の適正化にも繋がるのでは。町長の所見を伺う。

健康推進室長 生後6か月からだが、実際は1歳過ぎてからの接種が多い。

辻 接種率が高齢者も子どもも3分の1程度で、あまり高くない。やはり予防接種率を上げ、症状が軽く済めば医療費の適正化にも繋がると考える。

町長 インフルエンザ予防接種による重症患者や事故の発生については、

健康推進室長 接種料金のうち千円を補助、生

辻 接種率が高齢者も子どもも3分の1程度で、あまり高くない。やはり予防接種率を上げ、症状が軽く済めば医療費の適正化にも繋がると考える。

辻 接種率が高齢者も子どもも3分の1程度で、あまり高くない。やはり予防接種率を上げ、症状が軽く済めば医療費の適正化にも繋がると考える。

町長 インフルエンザ予防接種による重症患者や事故の発生については、

健康推進室長 接種料金のうち千円を補助、生

辻 接種率が高齢者も子どもも3分の1程度で、あまり高くない。やはり予防接種率を上げ、症状が軽く済めば医療費の適正化にも繋がると考える。

辻 接種率が高齢者も子どもも3分の1程度で、あまり高くない。やはり予防接種率を上げ、症状が軽く済めば医療費の適正化にも繋がると考える。





委員会活動



総務常任委員会

8月29日

- ①シャクシャインロード事業
シャクシャインロード事業について調査
- ②防災事業
防災行政無線整備について調査

9月9日

- ①町税徴収対策
町税等徴収実績、滞納処分執行状況、
収納状況、渡島・檜山地方税滞納整理
機構について調査
- ②子ども子育て支援事業
子ども子育て支援事業（幼児教育・
保育の無償化）について調査
- ③所管事務調査
第4回定例会までの所管事務調査を
協議

議会運営委員会

7月12日

- ①第3回臨時会の運営について協議

9月9日

- ①第3回定例会の会期及び日程、提出
される議案などの取扱い、第4回定
例会までの所管事務調査について協
議

9月12日

- ①第3回定例会の運営について協議

9月18日

- ①第3回定例会の運営について協議

産業建設常任委員会

8月8日

- ①商工観光振興
観光客入込数の状況、合宿誘致事業
（現地調査）、あつまんべ利用状況、
商工事業者経営改善等支援について
調査



9月3日

- ①農業振興
公共牧場入牧状況、道営草地整備事
業について調査（現地調査）



- ②所管事務調査
第4回定例会までの所管事務調査を
協議

議会広報編集特別委員会

7月5日

①議会だより第200号の編集

7月12日

①議会だより第200号の編集

9月18日

①議会だより第201号の編集

まちづくり・新幹線 調査特別委員会

8月8日

①まちづくり新幹線等に関する調査
北海道新幹線の長万部町内における
構造概要と今後の進め方に関する説
明会、先進的アグリビジネス事業に
ついて調査

● 議員の出席簿 ●

令和元年7月～令和元年9月

会 議 名	開催日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		村 川	辻 (紀)	高 橋	大 谷	長 崎	橋 本	高 森	北 川	柏 倉	辻 (義)
第 3 回 定 例 会	9月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 3 回 臨 時 会	7月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全 員 協 議 会	7月12日	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	8月29日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総 務 常 任 委 員 会	8月29日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産 業 建 設 常 任 委 員 会	8月8日	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	9月3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 会 運 営 委 員 会	7月12日	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	9月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ま ち づ く り ・ 新 幹 線 調 査 特 別 委 員 会	8月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 会 広 報 編 集 特 別 委 員 会	7月5日	-	-	○	-	○	○	-	○	-	○
	7月12日	-	-	○	-	○	○	-	×	-	○
	9月18日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ (出席) × (欠席) - (出席対象外)

所管事務調査

(委員会が受け持っている調査内容)

第4回定例会(12月)までの各常任委員会、議会運営委員会の所管事務等調査事項は、次のとおりです。

《総務常任委員会》

・子ども子育て支援事業 ・国民健康保険運営状況 ・病院事業 ・公共施設の管理運営

《産業建設常任委員会》

・林業振興 ・公園事業 ・漁業振興 ・農業振興

《議会運営委員会》

・議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項

議会のうごき

7月

4日 渡島総合開発期成会札幌要望
(札幌市) 議長

6日 渡島地方消防総合訓練大会
議長

18日 渡島町村議会議長会議
(函館市) 議長

19日 札幌長万部会(札幌市) 各議員

8月

1日 道南地区林活議員連盟総会・研修
会(今金町) 各議員

6日 渡島総合開発期成会中央要望
(東京都) 議長

24日 北渡島檜山4町議会連携協議会交
流大会(今金町) 各議員

27日 渡島檜山町村議会議長連絡会議
(奥尻町) 議長

9月

7日 シャクシャイン慰霊旗リレー安全
祈願祭 各議員

8日 ふれあいオリンピック 各議員

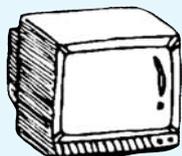
12日 第3回定例会 全議員

18日 第3回定例会 全議員

20日 第3回定例会 全議員

議場のテレビ放映

役場1階ロビーで定例会、
臨時会の模様を放映して
います。



この広報紙は
再生紙を使っ
ています。

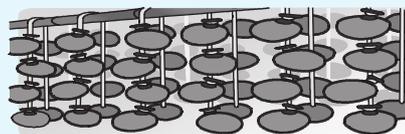
お願い

議長宛ての案内などの文書は、
議会事務局へ送付ください。

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月です

署名をしないで傍聴することが
できるようになりました。



お過ごしですか。

今年も全国各地で深刻な災害が発生し、なかでも9月10日に発生した台風は、関東から東北まで甚大な被害をもたらしました。

当町でも昨年の胆振東部地震でブラックアウトを経験し、防災に対する意識が高まりつつあるなか、今年度の予算に盛り込まれた災害情報伝達のためのシステム整備事業が始まりました。9月には写万岳送信局が、11月には各配信局の整備が行われ、来年1月からは各家庭に防災ラジオが配布される予定です。

町民のみならず、災害に対する備えを今一度確認し、防災に対する意識を高めましょう。

令和元年も残すところ2か月となりましたが、みなさまはいかがお過ごしですか。

議会広報編集特別委員会

委員長 長崎 厚
副委員長 高橋 克英
委員 橋本 佳嗣

北川 佳嗣